

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	児童用パソコン整備					所管	教育委員会 庶務課
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成 6 年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	直接的な対象:区立小学校 最終的な対象:区立小学校在学児童						
	事業目的	パソコン教室の環境を整備・維持することにより、児童が生涯にわたって情報及び情報機器を適切かつ効果的に活用できる資質・能力を養う。						
事業内容	教育用パソコン等機器類の整備および定期的な入替えを行い、環境の維持を図る。							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	パソコン整備台数	台	766	766	766	766	
	成果指標							
	決算額 (単位:千円)				46,138	53,084	53,298	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			935	962	1,070	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			46,138	53,084	53,298	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			47,073	54,046	54,368	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			47,073	54,046	54,368			
前回評価から改善した事項	将来的な無線LAN化を見据え、パソコンの入替えの際にノートパソコンからタブレットパソコンに入れ替えを行った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	コンピュータ教育は必須であり、今後もパソコン等機器の定期的な入替を行うことにより、環境を維持する必要がある。					
	効率性	3	パソコン教室のパソコンをリースで行うことにより、経費の平準化が図られている。					
	手段の適切性	3	パソコン室の水準を維持向上を図るために定期的なパソコンの入れ替えを行っている。					
	目的達成度	3	パソコン教育が円滑かつ積極的に行われ、児童が情報及び情報機器を活用できる環境整備・維持ができています。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持 拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	
児童が生涯にわたって情報及び情報機器を適切かつ効果的に活用できる資質・能力を養うためには、引き続きパソコン教室を維持・管理する必要がある。								